

岡山大学を進学先に選んだ理由

深い理由があったわけではないんです(笑) とにかく大学時代は京都から外に出なくて、他県の大学を志望していました。もともと中学・高校で虫の研究をしていたので、農学部を志望していたんですが、自分の専攻を細かく限定されるのがいやでした。その点、岡大の農学部は「総合農業学科」ということで、いろんなことを学べそうでいいな、と。それに岡山とびくと「フルーツ」、「晴れの国」が連想されて、農学部だと楽しそうだな、と思ったというもあります。

入学して

あまり考えずに受験したのですが、実際に入学してみると、とても楽しかったですね。実習でみんなでキュウリをとったり、半田山でイチゴ狩りをしたり、というのが面白くて。それに岡山ってすごく暮らしやすいんです。山も川もあって、自然に恵まれている。だけど、田舎ではなく、適度に都会というそのバランスがいいですね。何にでも「桃太郎」とか「ピーチ」ってつけてしまうそのちょっとしたタサさも、とても好きです。

岡大のいいところ

何と言っても、フットボールが深いことですね。私は大学時代、ほんとうに自分の好きなことばかりやっていたんですが、それを受け入れてく



▲カンバラクニエさんのイラスト

岡大罷ベンチャーな人紹介

カンバラクニエさん
イラストレーター

本学在学中からイラストレーターとして活躍。人気音楽デユオ「orange pekoe」のCDジャケットのデザインを手がけていることで知られ、そのスタイリッシュな画風により、現在も注目をされているイラストレーターの一人であるカンバラクニエさんにお話をうかがいました。

れるおらかさがありません。先生方も良くしてくれて、研究でも絵の活動でも、やりたいことがあれば全力で応援してくれました。その先生方とは今でも交流があります。岡山には友達もたくさんいますし、京都よりも人のあたたかみを感じられて、とても好きな土地です。私にとって、まさしく第二の故郷ですね。

イラスト活動について

ずっと小さい頃から絵を描くのが好きでした。大学に入学後も、絵を描いてはそれを友達にあげていたんですが、それがいろんな人の目にとまって、だんだん小さな仕事が舞い込んでくるようになって。

大学2年生のころ、サークルには入ってなかったんですが、大学祭に参加したくて、自分が代表者で会員も自分一人の「カンバラクニエ会」というサークルを作りました。そのサークルで、自分でデザインしたTシャツとか雑貨を売る模擬店を出店したんですが、それがちょっとした話題になって、イラストレーターとして本格的に活動するきっかけになりました。

将来の目標

私は、今も学生時代と同じく、好きなことばかりやって生きて、常にやりたいと思つたことをやっています。「何でもできちゃうはずなんだ」というのが、私の座右の銘なんです。だから目標というのともとくにないのですが、強いてあげるなら、「毎日楽しくて、ごはんがおいしくて、あったかい布団で眠れ

ればいい」ってことですね。「まんが日本昔ばなし」の主題歌みたいですけど(笑)

学生へのメッセージ

今の学生さんって、将来のことを深刻に考えすぎているんじゃないかと思えます。人間、将来どうなるかなんてわからないと思うんですよ。私だって、まさか「カンバラクニエ会」が存続していて、自分がイラストレーターとして食べていってる、なんて10年前には想像もしませんでしたから。

イラストレーターという、大学時代の専攻とはぜんぜん違う仕事についていますが、いろんな人にいろんなことを教わった岡大のあの日々は、確実に私の中に息づいています。

だから、学生時代にはあまり先のことを悩まず、毎日の生活を充実させることを考えて欲しいですね。それが後の人生に必ず生きてきますから。

それから、先生との出会いを大事にしてください。あんなへんな人たちとたくさん知りあえる機会は、学生時代にしかありませんから(笑)

▶カンバラクニエ

- ・京都府京都市出身。
 - ・本学農学部卒。
 - ・現在は京都在住。
- 妹であるカンバラヨシエさんと「カンバラクニエ会」を結成。雑誌の挿絵、広告、映像制作などさまざまなジャンルでの創作活動を展開している。